



【戦評シート】

平成23年8月9日(火)	協会名：秋田県バスケットボール協会	
場所：琴丘総合体育館(Bコート)	記入者：工藤 央弥 藤原 幸洋	
チームA 津 軽 (青森1位)	23-15 17-19 23-23 22-18	チームB 山形第六 (山形2位)

スターター	チームA： #4, #5, #6, #7, #8
	チームB： #4, #6, #7, #8, #13
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン(2-1-2) <input type="checkbox"/> その他()
	チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン() <input type="checkbox"/> その他()

第1ピリオド、津軽中は2-1-2ゾーン、山形六中はマンツーマンでディフェンスをする。津軽中は#5 田山が3Pを沈めると、前線からのプレスディフェンスでプレッシャーを与える。序盤はなかなかリズムに乗れない山形六中だったが、中盤に#7 齋藤がスティールから連続して速攻で得点し、点差を縮める。ミスが続いた津軽中だが、アウトサイドからリズムよく点数を重ね、終了間際に#4 齊藤が得点し23-15と津軽中リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、山形六中は津軽中の執拗なプレスディフェンスに手を焼く。津軽中は第1ピリオドに引き続き、#4 齊藤#5 田山がリズムよくシュートを決めて点差を二桁に広げると、残り4分で山形六中はたまたずタイムアウト。追いつきたい山形六中が積極的にオフェンスリバウンドに向かい、#6 伊藤がゴール下のシュートを決めると、今度は津軽中がタイムアウトを取り、ディフェンスをマンツーマンに変更する。終盤、山形六中は#4 中川が連続して3Pを沈め、二桁あった点差を一気に縮めるが、追いつくには至らず40-34と津軽中リードのまま前半終了。

第3ピリオド、津軽中はディフェンスを再びゾーンに戻す。開始早々、前半のリズムをそのままに山形六中は#4 中川が3Pを沈めると、その後もテンポよく得点し同点とする。そのまま勝ち越したいところだが、津軽中は#6 木嶋のスティールなどディフェンスで踏ん張り、リードを許さない。中盤からはシーソーゲームが続くも、津軽中がディフェンスで徐々に相手のミスを誘い、#5 田山や#6 木嶋が速攻で確実に得点を重ねる。冷静に守った津軽中がリードし、63-57で第3ピリオド終了。

勝負の第4ピリオド、津軽中はディフェンスをマンツーマンに切り替える。序盤からお互い激しいディフェンスで相手のシュートミスを誘い、一進一退の攻防を繰り広げる。津軽中#10 横山が3Pを決めると、山形六中は#4 中川の3Pで応戦。両チームとも内外でバランスよく得点する。残り1分山形六中は#13 古澤がバスケットカウントを沈めて点差を縮めるも追い上げ及ばず試合終了。85-76とディフェンスで主導権を渡さなかった津軽中が初戦を勝利で飾った。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。